

3. 日系企業トップとの懇談会 (報告者 越川 隆夫)

(1) 開催場所 インターコンチネンタルホテル内 3F

中華料理店 (Summer Palace)

(2) 開催日時 2004年2月16日(月) 19:30~21:30

(3) 懇談会出席者

日系企業側; 須藤 裕雄 (タイ三井物産 社長)、松尾 淳一 (JETRO, 元特許庁審査官)、村上 勲 (MITSUBISHI)、小林 秀彦 (MIYAKE & YAMAZAKI)、加藤 稔 (AP HONDA)、高井 信之 (資生堂)、大橋 寅次郎 (TILLEKE & GIBBINS 法律事務所)、Mrs. Vipa Chuenjaipanich (TILLEKE & GIBBINS 法律事務所)、松本 敬介 (盤谷日本人商工会議所 事務局長)

(4) 懇談会内容

- ・工業製品の模倣品は、一般的に少ない。CD、DVD等が多い。
- ・模倣品の経路; 中国から第三国 (ラオス、カンボジアなど) を経て、或いはメコン川を経てタイに入ってくる。
- ・タイはPCT、パリ条約に加盟していない。不正競争防止法がない。
- ・最近PCTへの加入の動きがある。
- ・法律は整っているが、解釈や運用に問題が多い。
- ・日本企業の立場からはきちんと対応することが必要。
- ・工業製品の話し合いはTFI (Federation of Thailand Industries) を通じて行っている。
- ・輸出入のバランスについて
タイ 日本
タイ側は日本に農産物、人 (マッサージ) 入れるように要求している。
(現実にタイ米は泡盛用に用いられているのみ)
- ・JETRO
ASEAN 諸国、7カ国、8事務所 (ベトナム2カ所) でカバー。
20名の日本人職員と20名の現地採用者
現在FTA交渉を行っている。タイはTRIPs、ベルヌ条約のみ入っている。
条約加盟をタイに要求しているが、加盟のメリットが分かる人がいないのが現状。
特に、DIPに条約についての評価できる人が殆どいない。
日本からタイ政府への支援 (例; 専門家をJPから送っている。) を行っている。
対日系企業には、貿易円滑化推進事業等の各種支援を行っている。
- ・商標、著作権侵害は民事と云うよりも刑事になる例が多い。
- ・サンヨー等の電気製品では、部品の偽物が多く出回っている (中国から

か？)

- ・資生堂などの化粧品については、偽物が多く出回っている。模倣品の価格は真性品の1/5～1/10。商標は類似しないが、パッケージが似ている。5000～10000個押収した。当局は協力的だった。
- ・資生堂のエアポートマーケットにおける取締状況の興味深い話があった。
- ・化粧品の価格は日本よりも高く設定している。
- ・タイの模造品の取り締まりは、最近厳しくなっている。
- ・報奨金を出して模造品情報を蒐集した例もある。
- ・根本的には意識が変わらないと効果少ない。
- ・タイの二輪車販売ビジネス；90年後半 増加 95年；ピーク145万台
1998年；50万台 2002年；100万台 2003年；145万台
- ・商標「ヒーロー」3台を経済警察で阻止できた。
- ・中国からタイへ27台が輸入された。
ホンダの特許権侵害で訴えた。現在 IP 裁判所で弁論審理中。
- ・2001年までは二輪車については日本4社以外なし。
- ・最近、中国の二輪車メーカーがタイに進出する動きがある。
- ・二輪車の中国からの輸入は排ガス規制で抑えられている。
- ・ホンダは、1台でも模倣車を許さないとの姿勢で臨んでいる。
- ・ホンダはタイ市場の70%を占めている。独禁法上の問題あり。
- ・2001年7月東北地区の経済警察を介して意匠権侵害で動いた。